## 了通信W15以 共產主義者同盟書記局発行

せる 、地区反戦の滑走路前青年学生総決起集気に生

党 、民同斗争生面放棄ノ共産党は中央実行委員会

ド外等放 対等放棄に走ることに ち、必料等は五目一九 新たな事態は次の Y **うりであ** 2 Ħ 2 桵 7 階で 唇面 る を社 一分對 しが た全 。面 鼣

**共**斗へ <del></del> 無集会 べ Ł 方 か 十八七萬十両寅 、三勞 以巨き、 H 7 結成 2区貯 ある。 的に 5 んとも 0 、ち、以東京 5 4 一大學艺 しば を決定、 を加える たる十平 日まで ž 三匆友 これに対して共 6 di じめ の対元 三労爭人 水" 7 t\_0 19 、)と提 ス文文 行委員 九此評 社 0) 和母員会、共產萬塔 甘るい セ 社外党口七看共外 四者会数による 后公兴 水 ŋ ٦ が続き共産党は最終的に、安全)を撰案した。これに天、比无反対問購し段至こ 案 一応とりく 召单 此无反対 建 これ L 地域 建 の五割 崖 田と に対 額名 む 苅 K / 社 して社会党 12 L K 藥 実行季 等放さ ~ K 石 にあ 巭 約に 0 行 芖 脥 | 葬員会 **吴** した 3 + 1 几 定 つ の **ئر**، 武 一 16 マ決 難 n \_\_\_ Ξ Ħ 共 評

1 会 N W., 歬 餓 これは当初 19 7 、練 柀 0) 大 同解 反战は一タ 彻 う境状を反験し が独自結集 目 0 である。 ぎな 冞 地 深俊 か方 区反战 衐 放釈 つきあ 針は となっ 社会變 Ž 育 · ン 動 1 か ٤) 年 7 がに 大数 **岑** 生**松** 基地 自倍を失っていたことと、 組 K 7 台 摇 、既 が のであ なっ 番 レとア 畃 W 初 8 なっこれ の員を目標 IJ 決起 甋 目 7 進 13 \* 0 0 (中 ランチを 较 集会 Ø . = 1) 争放 とい 77 块 にして こと次行を K 組みをして n 户 反 対 4 キカ 反戟 15 战の 7 いた 对 K" D の再て重 決定 がし当 都 三为 榖 U 淅 て争 単な 15 した。 団 W 、敵 H 題いめ R 独じ K

**央契行委員公** 出 z U 体 一方 = に対 7 地 も此元 を総蔵 じて、 元反 1) 対 現地 の意 甲 日本 契実行委員会には全く重 恋 番 15 山坳 \* 萼 固 二 十 返椒 重 法寺内にわか 1 甘朝 るを 舞 0) と求 殺 Ħ U 階 れて Ż 7 ニナ 代本 帯 W 山 協 Ø 木妙 たガミ 甲 し 法 F

汁.党 爭民 n で参加すること 決定する せて我々 . <u>Ľ</u> ため 沢 起集公 K 0 る E 13 炉 止 泱 定して と対 ٠ 1 二 17 L 香 いる行 Ñ ۲ ガス 六 0 初 卜段 ( 尚 以 階 長 降の 欢 会脏社 餌 彰川会人

IJ

以上

1)

کّ

E

雅記す

1

朝を囲める 切灰 7 4 白 等 3 0 3 3 8 大を 八家行 が 路後が が釈 K 3 7 Ş < V1 る 客こ本と 体

題合 ③三多定 *X*' っ て 立 秀問 ^ 7 17-Y 她 无 佼 対 目 雛 M

自 4 紿 解 集 放派は労 K す 1/4 切战 出 してい 縺 K お ること い 7 E 哒 木 文 会以 Á

的契 斗争 \_ ₹ 日中 とし 酸 0 陰 П 核派 15 V0 を切 201 1 て報定さ で、ち は美 しるろ IJ 開く として n グ坐の しものとしてあ ž 毎ば の意とと位置 3 銋 を砂 世 群に代 0 >11 ñ 1) マリ 文 K X 80 木 象 T 17 Y 2+ 強力 70 晉 类 全  $\square$ X

確認され

1Q

15

15

5

FS

ことである スし、全口に砂 即ろ 行す が共産變 7 社会党の , 実刀斗等 全学班 ることによって 150 を報大主力都家とする徹底 大醫宣仏 **斗争放さは、** 0 川 旗 きかか 7 斗争の ること 強が 斗争が大衆性 野 <del>大</del> 差本的 15 三万に 胜 绝 佫 下 性 Z 的突出刀 T 鄠 挌 翢 Ę IJ  $I_{ij}$ ら労 変ら か 蓟 30 庚 K するに介 K 5 ち 8 7 い敢る

々 0) 廷 はなり一人体的行列 月日 強次 か とう 数 1) 初で B 3

こと の全学 业 力: 15 大 鲄 8 かち Z **Z**)

胜 ②社会绝 を大毅 **系** 単 差 国はしてゆくこと 単維で ゴ あ Ŧ ~ 砂 ):{ 3+ 争 1)

二の場合、 組合内 7 対 を提起し ③ 共產 党 系 单產 7 題と 全 2に結成 Ħ 实刀 E の運帯の つきあげること あ がたて対 斗争 U 華 也 いもとに 区反战 験を 餓 Z 孙 斗う 牧云 り旗 は公 ち 更 ٤ (١ の下 E とること K 然 の旗 独 Z う養極的 に結集す 色 実 1) 刀 斗等 0 寒 行 主を ること 登 0 薇 地 孌 会 K 心

Ħ 4 結 名 集寸 灺 C 3 反成は以 075 T 0 琓 派 4 舒 玄 とう 2

U (5) 15 報けきい 办 社 しこな て打意又 再同解放 LEEE 安保体制 聖蕃莉反 多くつ成 甲核 か舞てか あげいつ 打 るでる自 酸 17 Ĺ 共 饭Y的 か K りを抵 翌 A) を自抗 求 川 英艷戲 4 L 張し換 幺 急 白貲 UT L 0 抱りと 宜 せなし して 忲